



詳しくは当館の  
ホームページまで!

# Revisit

## 弥生文化：発見と研究の現在地

2026 **4.25** SAT ~ **8.30** SUN

池上曽根  
史跡公園  
開園25周年  
記念

大阪府立  
弥生文化博物館  
開館35周年  
記念

池上曽根  
遺跡  
史跡指定50周年  
記念



池上曽根史跡公園 大型建物【和泉市教育委員会】

## 日本文化の源流を とらえなおす旅へ

開館時間 / 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 / 毎週月曜日(ただし5月4日、7月20日は開館)、5月7日(木)、7月21日(火)

入館料 / 一般430円 / 65歳以上・高大生330円

- ・中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名様は無料
- ・20名様以上の団体は団体割引料金

■共催 / 大阪府立弥生文化博物館・泉大津市教育委員会・和泉市教育委員会

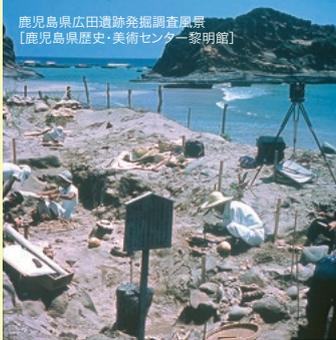
■後援 / 泉大津市・和泉市



1.銅鐸:大阪府西浦【文化庁(当館保管)】/羽曳野市教育委員会 2.赤彩のある壺:山賀遺跡【大阪府教育委員会・当館/当館】 3.金印:福岡県志賀島【福岡市立博物館/同左】\*

4.石戈:城山遺跡【大阪府教育委員会・当館/当館】 5.画文帯神獸鏡:和泉黄金塚古墳【東京国立博物館/同左 Image: TNM Image Archives】\* 6.弥生犬:亀井遺跡出土骨を元にした復元【当館/同左】

[ ]:所蔵・保管 / 写真 \* :展示は複製品



鹿兒島県田道跡発掘調査風景  
【鹿兒島県歴史・美術センター黎明館】



鏡をかかげる早弥呼[当館]



北海道有珠モシリ遺跡発掘調査風景  
【伊達市教育委員会】

弥生文化は、日本列島で水稲農耕をはじめた人びとの営みを今に伝える重要なものです。しかし改めてその内容を厳密に問われると、正確かつ明快に答えることはなかなか難しいといわざるをえません。

日本唯一の弥生時代の専門博物館を標榜する施設として1991年に開館した当館は、それまでの弥生文化研究の成果に基づいて設立されました。その後35年にわたる全国各地の発掘調査の進展によって資料は大幅に増加し、さまざまな観点に基づく新たな分析が進められてきました。

## 開館35周年記念学術鼎談

九州、近畿、東日本を各々の活動の基盤とする弥生研究の第一人者3人が集まり、最新の研究成果を学術的見地に基づいて検討・総合するとともに、次代の研究者にむけて今後進むべき航路を指し示します。

5月30日(土) 午前11時から午後4時45分

(休憩：午後0時30分から午後1時30分、午後3時から午後3時15分)

弥生時代・弥生文化とは？ — 開館から35年の時を超えて —

登壇者  
武末 純一 氏 福岡大学 名誉教授  
森岡 秀人 氏 古代学協会 客員研究員  
石川 日出志 氏 明治大学 名誉教授

■ 参加費：受講料500円(別途入館料が必要です)  
■ 定員：130名  
(当日先着順 開館時より整理券配付、開演30分前から開場・受付)

## 関連講演会

企画展の内容に関連したさまざまなテーマを研究する専門家が最新の知見を披露します。

- 第1回** 縄文時代から弥生時代へ  
— 農耕社会のはじまりに関する今日的評価 —  
5月9日(土) | 岡田 憲一 氏 奈良県立橿原考古学研究所 総括研究員
  - 第2回** 出土米からみた日本列島の歴史  
6月13日(土) | 上條 信彦 氏 弘前大学 教授
  - 第3回** 鉄器をめぐる日本列島と朝鮮半島の多元的交流  
— 弥生時代の列島東部を中心に —  
7月4日(土) | 鈴木 崇司 氏 駒澤大学 研究員
  - 第4回** 弥生文化と北方世界とのつながり  
7月11日(土) | 青野 友哉 氏 東北芸術工科大学 教授
  - 第5回** 青銅器分布論の更新歴と現在地  
7月20日(月祝) | 吉田 広 氏 愛媛大学 教授
  - 第6回** 弥生時代の貝文化 — 琉球列島の人びととの交流 —  
8月8日(土) | 木下 尚子 氏 熊本大学 名誉教授
  - 第7回** 現代社会のなかの弥生文化  
8月22日(土) | 安藤 広道 氏 慶應義塾大学 教授
  - 第8回** 古墳時代からみた弥生文化  
8月29日(土) | 福永 伸哉 氏 大阪大学 特任教授
- 時 間：午後2時から午後4時  
■ 参加費：受講料500円(別途入館料が必要です)  
■ 定員：各回とも130名  
(当日先着順 開館時より整理券配付、開演30分前から開場・受付)

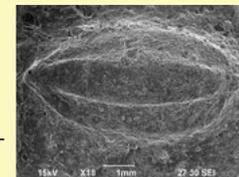
その結果、実年代観が大きく変化するとともに、列島内部によこたわる地域性や列島の諸文化との交流が明らかとなり、かつての弥生文化の説明には修正が求められる状況となりつつあります。

本展では、このような現状をふまえつつ、臨時閉室中の当館第1展示室展示品に新出資料を加えた展示構成により、弥生文化の内容とその意義をとらえなおします。

## 弥生文化博物館・近つ飛鳥博物館〈交換〉講演会

■ 講演会 in 弥生文化博物館  
8月1日(土) 午後2時から午後3時30分  
考古遺物の年代はどのようにして決まるのか  
— 近つ博夏季企画展のみどころ —  
飯塚 信幸 近つ飛鳥博物館 専門学芸員

■ 講演会 in 近つ飛鳥博物館  
8月2日(日) 午後1時30分から午後3時  
弥生時代像をみなおす  
— 弥生博春夏季企画展のみどころ —  
三好 玄 弥生文化博物館 学芸総括  
※いずれも参加無料(別途入館料が必要です)



イネ圧痕：讃良郡糸里遺跡  
【大阪府教育委員会 / 設楽博己氏】

## ワークショップ

①5月2日(土) ②5月23日(土) 午前10時から午前12時30分  
“弥生土器”でごはんを炊こう!

土器でお米を炊く体験をします(池上曾根弥生学習館と共催)  
■ 定員：①②ともに10組  
■ 参加費：無料(別途入館料が必要です)  
事前申込制です。代表者名・参加人数・連絡先を記入して info@yayoi-bunka.comへお申し込みください。

## 展示担当者による展示解説

毎週土曜日に企画展のみどころを解説します  
(ただし5月30日を除く)  
■ 時 間：午前10時30分から(1時間程度 申込不要)  
■ 参加費：無料(別途入館料が必要です)

※各種イベントの文字通り、場内誘導、車いす席の確保等について、サポートをご希望の方は、【開催日の3日前】までにお知らせ下さい。ご要望内容を検討のうえ、できる限りの対応を取らせていただきます。

特定天井改修工事のため、下記の期間において展示室の一部を閉室しております。  
【第1展示室】令和9年3月末まで(予定)  
※工事期間中は駐車場の一部がご利用できなくなります。できるだけ公共交通機関のご利用をお願い申し上げます。

## ACCESS

電車でお越しの場合

- JR阪和線「信太山」駅下車  
西へ約 600m
- 南海本線「松ノ浜」駅下車  
東へ約 1,500m

【大阪方面からお越しの場合】

JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、鳳(おおとり)駅で普通電車にお乗換えください。一部に、鳳駅まで快速、その後各駅にとまる「区間快速」もあります(くわしくは時刻表をご確認ください)。  
大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」をご利用になると便利です。  
鳳駅から3駅目が信太山(しのだやま)駅です。

車でお越しの場合

国道26号「池上町」交差点南西角



早弥呼と出会う博物館

大阪府立弥生文化博物館  
Museum of Yayoi Culture

指定管理者：AKN共同事業体

〒594-0083 大阪府和泉市池上町4-8-27 https://yayoi-bunka.com/  
TEL:0725-46-2162 FAX:0725-46-2165



大阪府立近つ飛鳥博物館

令和8年度 春季特別陳列

大阪の眠れる逸品たち [4月25日(土) ~ 6月7日(日)]

令和8年度 夏季企画展

年代の定点 [7月18日(土) ~ 9月6日(日)]